




SDGs	 1 貧困をなくそう						
	目標	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる					
狛江市の 関連施策	・地域で暮らすための生活支援						
狛江市の 取組	①高齢者地域相談事業における見守り活動（狛江団地・多摩川住宅合計）						
		H30	H31	R 2	R 3	R 4	方向性
	活動件数	8,229	11,468	8,332	8,568	9,759	↗
	②住まい探しの相談窓口相談件数						
	H30	H31	R 2	R 3	R 4	方向性	
件数	14	12	16	14	22	—	
総括	<p>・高齢者地域相談事業における見守り活動等により、高齢者や家族介護者が安心して相談できる体制を維持し、高齢者や家族介護者が生活の困りごと等を解消し、地域で安心して生活できる環境整備に努めた。</p> <p>・市役所福祉相談課では、経済的に生活を維持できなくなる前に、問題解決に向けた支援を実施することで、自立の促進を図ることを目的とした生活相談窓口を設置しており、相談者に対して、就労斡旋や日常生活における助言等を行い、高齢者に対しても支援を行っている。</p> <p>・狛江市ではケースワーカーに福祉専門職等が多く配置されており、市職員が専門的な相談支援スキルを活かしながら、地域包括支援センター等の支援関係機関と長年構築してきた顔の見える関係により、連携を図り、支援を必要とする方へのきめ細かい対応を行った。</p> <p>・市役所福祉政策課では住まい探しの相談窓口として、高齢者、障がい者、子育て家庭などの事情で住まい（民間賃貸住宅）の確保にお困りの方の相談を受け付け、住宅確保要配慮者の住宅確保支援を行った。</p>						

SDGs	 すべての人に健康と福祉を						
	目標	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する					
狛江市の 関連施策	・地域で暮らすための生活支援						
狛江市の 取組	①もの忘れ相談会						
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性
	相談件数	19	10	14	17	17	↗
狛江市の 取組	②夜間の介護相談会						
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性
	相談件数	－	2	1	1	1	↗
狛江市の 取組	③地域活動に参加している高齢者の割合						
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性
	割合(%)	－	－	35.0	39.3	32.4	↗
総括	<p>・高齢者地域相談事業における見守り活動等や関係機関とのネットワーク構築を図ったことにより、高齢者や家族介護者が安心して相談できる体制を維持し、また虐待防止・見守りネットワーク事業における高齢者虐待防止の啓発、虐待対応時の多機関連携体制の構築を図ったことにより、高齢者や家族介護者が生活の困りごと等を解消し、地域で安心して生活できる環境整備に努めた。</p> <p>・認知症連携会議、もの忘れ相談会、夜間の介護相談会といった認知症高齢者やその家族を対象とした事業の開催や認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座といった担い手の養成を行う事業の開催、その他に屋外型の認知症カフェを毎月開催し、あらゆる立場の方に参加していただける事業や通いの場を提供した。</p>						

SDGs	 住み続けられるまちづくりを						
	目標	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する					
狛江市の 関連施策	・地域で暮らすための生活支援						
狛江市の 取組	① 認知症サポーター養成講座受講者数						
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性
	人数	362	330	202	249	306	↗
狛江市の 取組	② 高齢者地域相談事業における見守り活動件数（狛江団地・多摩川住宅合計）						
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性
	件数	8,229	11,468	8,332	8,568	9,759	↗
狛江市の 取組	③ 認知症初期集中支援チーム相談件数						
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性
	件数	3	3	0	0	0	↗
総括	<p>・認知症高齢者やその家族を対象とした事業の開催や認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座といった担い手の養成を行う事業の開催、その他に屋外型の認知症カフェを毎月開催し、あらゆる立場の方に参加していただける事業や通いの場を提供した。</p> <p>・認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターステップアップ講座の開催や屋外型の認知症カフェを継続開催することで、認知症高齢者とその家族への支援体制を強化した。</p> <p>・チームオレンジコーディネーターは認知症サポーターステップアップ講座修了者等を対象に、チームを結成し、活動に向けた促進をする役割を担っており、既に1チームが結成し、相談会等の活動を実施している。</p> <p>チームには、市民等が認知症サポーターとして関わっており、今後も更なる活動の拡大やチーム数の増加に向けた取組が必要である。</p> <p>・認知症高齢者や虐待対応については、将来的な見込みみや件数等について、予想が困難である点や地域のあらゆる資源を活用する必要がある一方で、他事業や他機関との連携により、事業周知の拡大や多方面からのアプローチを行い、事業参加者の増加や制度拡大へ向けた取組を実施している。</p>						

SDGs	 平和と公正をすべての人に														
	目標 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する														
狛江市の関連施策	・地域の防犯体制の充実														
狛江市の取組	①市内刑法犯認知件数のうち、凶悪犯を除いた件数 <table border="1" data-bbox="331 518 1556 619"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>方向性</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>376</td> <td>359</td> <td>309</td> <td>276</td> <td>307</td> <td>↘</td> </tr> </table>		H30	H31	R2	R3	R4	方向性	件数	376	359	309	276	307	↘
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性								
	件数	376	359	309	276	307	↘								
②特定空家等の件数 <table border="1" data-bbox="331 715 1556 815"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>方向性</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>↘</td> </tr> </table>		H30	H31	R2	R3	R4	方向性	件数	-	5	2	4	6	↘	
	H30	H31	R2	R3	R4	方向性									
件数	-	5	2	4	6	↘									
③学校安全ボランティア登録者数 <table border="1" data-bbox="331 898 1556 999"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>方向性</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>184</td> <td>203</td> <td>209</td> <td>202</td> <td>173</td> <td>↗</td> </tr> </table>		H30	H31	R2	R3	R4	方向性	件数	184	203	209	202	173	↗	
	H30	H31	R2	R3	R4	方向性									
件数	184	203	209	202	173	↗									
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・刑法犯認知件数について、前年より増加してしまったものの、防犯講演会や防犯カメラの補助等、各種施策を推進したことで、防犯対策の強化につながった。特殊詐欺被害の防止について、調布警察署、調布市と特殊詐欺対策の連携を図るとともに、調布警察署と連携した自動通話録音機の貸与事業を実施し、被害件数の減少につながった。 ・特定空家等に認定していた10件の空家等所有者へ必要な措置を実施するよう助言・指導等を進めたことにより5件が改善された。適正に管理されておらず、治安の悪化につながる恐れがある空き家、空き地等について、所有者・管理者への働きかけにより改善を図るとともに、公園内に防犯カメラを設置し、花いっぱいエリア事業やアドプト団体による公園の美化・景観を保つことによりすることで、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めた。 ・保護者や地域住民等のボランティア活動により、市民一人ひとりの防犯意識が高まり、地域の防犯活動により子どもたちの安全が確保され、安心して暮らせる安全なまちに寄与することができ、通学路の防犯カメラの適切な維持管理により、犯罪が未然に防止されることにつながった。 ・多職種連携研修会を開催し、多職種間の連携を深めるとともに、課題の共有を図り、市内の分野を越えた顔と顔の見える関係を築いている。 														

SDGs	 17 パートナーシップで目標を達成しよう						
	目標	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する					
狛江市の 関連施策	・地域コミュニティ活動の活性化 ・地域の防犯体制の充実 ・地域で暮らすための生活支援						
狛江市の 取組	①町会・自治会未整備地区の面積割合						
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性
	箇所	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	↘
狛江市の 取組	②医療と介護の多職種連携研修会						
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性
	参加人数	55	-	34	38	40	—
狛江市の 取組	③アドプト制度登録団体						
		H30	H31	R2	R3	R4	方向性
	団体数	21	24	23	26	29	↗
総括	<p>・地域コミュニティ活動の活性化として、コンパクトな市域では団体同士の横の繋がりが大切であるが、団体向け講座においては、ただ座学をして終わりではなく、団体同士の情報共有や意見交換も行うなど交流を深める機会としている。また、コンパクトである市の特性から、町会・自治会会員内のみならず、町会・自治会間でも顔と顔の見える関係としての地域コミュニティを形成できるよう、町会・自治会連絡会を年に2回程度開催している。</p> <p>・防犯体制の充実としては、狛江のコンパクトさという特性として、防犯協会と連携した青色パトロールについて、コロナ禍においては活動が制限されていたものの、現在は活動が徐々に戻りつつあり、地域コミュニティのつながりにより防犯対策を進めていただいている。また、コンパクトな地域特性を活かし、各学校の児童の保護者や近隣住民のボランティア活動により、全市民的なパトロールにつながった。特殊詐欺被害の防止について、調布警察署、調布市と特殊詐欺対策の連携を図るとともに、調布警察署と連携した自動通話録音機の貸与事業を実施し、被害件数の減少につながった。また、公園内に防犯カメラを設置し、花いっぱいエリア事業やアドプト団体による公園の美化・景観を保つことによりすることで、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めた。</p> <p>アドプト制度を活用することで、28団体が花苗等の植栽や美化活動など環境保全等に係る活動を担う等、市民参加及び市民協働を行いながら、緑の保全・創出に取り組んでいる。</p> <p>・地域で暮らすための生活支援として、狛江市ではケースワーカーに福祉専門職等が多く配置されており、市職員が専門的な相談支援スキルを活かしながら、地域包括支援センター等の支援関係機関と長年構築してきた顔の見える関係により、連携を図り、支援を必要とする方へのきめ細かい対応を行った。</p>						

